

# 最近の取り組み

## 第352回県議会（平成27年6月定例会）

- 一般質問 ①集中復興期間延長について  
②フラップゲートの活用について  
③新規就労対策について

Uターン・Iターン対策としての、仮称「みやぎ未来基金」創設を提案

私の質問で取り上げた、フラップゲートの幅広い活用は「安全性の確認ができない」などの理由で、採用は難しいとの答弁でした。国や他県で認められた基準が何故本県ではだめなのか、到底、納得がいきません。議論を継続して参ります。移住・定住する若い世代の、起業化支援策として、仮称「みやぎ未来基金」の創設を提案しました。総合戦略の研究課題との答弁がありました。



## 集中復興期間

### — 東日本大震災復興基本法 — (東日本大震災からの復興の基本方針)

(本文)

……阪神・淡路大震災の例も参考としつつ、復興期間は10年間とし、被災地の一刻も早い復旧・復興を目指す観点から、復興需要が高まる当初の5年間で「集中復興期間」と位置付ける。また、一定期間経過後に事業の進捗等を踏まえて復旧・復興事業の規模の見込みと財源について見直しを行い、集中復興期間後の施策の在り方も定めることとする。…… (一部抜粋)



## 災害救助法適用範囲

阪神・淡路大震災	1県 25市町村	8兆6千億円
東日本大震災	8県245市町村	16兆8千億円

## 農地復旧

2014年8月10日  
農地復旧

今日は南三陸戸倉地区へ農地復旧状況の現地調査に行きました。被災農地に新しい土をいれて復旧しましたが、山土のため石が多く作付けのできなかった田んぼが何カ所もありました。農家の皆さんと対応について話し合いました。

2015年5月25日  
農地復旧

今日は、農地の復旧状況について大谷工区の現地視察です。農地を集約、営農組合で共同管理、運営をする新しい取り組みです。完成までもう少し時間がかかりそうですが、地域の農業振興が期待できる事業です。関係者と課題について協議してきました。

2015年6月6日  
トマト

東日本大震災の津波では、沿岸域の農地も大規模に被災しました。各地で農地の復旧が急ピッチで行われていますが、災害復旧の傍ら、農地の集積による新たな営農の取り組みも行われています。今日は、本吉の小泉地区でトマトの溶液栽培に取り組む農業生産法人を視察しました。施設の規模の大きさに驚きました。まもなく完成し、秋には収穫が始まるそうです。創造的復興を象徴する取り組みの一つです。大きな成果が期待できる事業です。

# 集中復興期間・事業費一部自治体負担の対策

**2015年4月13日  
議長会**

昨日は、竹下復興大臣を迎えて、村井知事と県内市町村長合同の、復興集中期間の延長についての会議が開催されました。

今日は、県内の「市・町議会議長会」の皆さんと、県議会、正副議長、大震災特別委員会のメンバーが同じ課題について協議しました。その結果、復興関連の事業費について、自治体に負担を求めようという政府の方針に対して、集中期間延長の要望活動を早急に実施する事が決まりました。今後の調査活動についての委員間討議のための特別委員会も開催されました。

**2015年4月15日  
党本部**

今日は、自民党本部で二階総務会長と面談しました。集中復興期間について現地の現状を説明、延長への理解を求めました。日韓友好促進議員連盟の会長として、韓国の水産物の輸入禁止措置の解除についての支援も要請して来ました。

**要望**

政府要望の後は自民党本部で、谷垣幹事長、額賀復興対策本部長に対して集中復興期間の延長について要望、意見交換を行いました。復興事業はまだ道半ばで、被災自治体には事業費の一部負担など到底できる状況にないことを申し上げ、理解を求めました。

## 風評被害・販路の確保・水産業の振興

**2015年5月3日  
銀ざけ**

養殖銀ざけの生産は宮城県で始まり、国内生産量の90パーセント以上が宮城県産です。生産施設などは震災で壊滅しましたが、様々なご支援と関係者の努力で復旧が進み、今年の実産量はほぼ震災前の水準に戻りそうです。今日は勾当台公園で銀ざけ祭りが開催され、開会式では今後の販売促進を期して、関係者の皆さんと頑張ろうコールで氣勢を挙げました。

**2015年5月26日  
県外視察**

大規模震災対策の特別委員会の県外調査です。県産品の流通の現状を把握するため大阪市中央卸売市場を視察しました。震災前の平成22年の宮城県の生鮮水産物取り扱い量は、数量で約3千5百トン、金額は約18億円でした。26年には、数量で約2千5百トン、金額で約16億円まで回復していました。前年比170%の伸び率でした。データからは風評被害の実態を読み取ることはできませんでしたが、仲卸の皆さんはまだ慎重な姿勢を崩してはいないという説明でした。

**2015年6月16日  
ホヤ**

今日は、先議案件を審査するための委員会と、本会議が開かれました。会議では気仙沼水産試験場の建設事業費など復興関連予算が全会一致で可決されました。夕方には水産議連主催の、ほやを食べる会に出席しました。今年から本格的に生産が開始されたほやの販売促進のための催しです。和洋中の様々な調理で、改めてほやの魅力を堪能しました。関係者の関心も高く、水産庁長官や知事も出席した催しは大盛況に終わりました。